



# 国民の森林 国有林

屋久島



ごぞんじですか？  
国有林は、みんなの財産です  
この大切な森林を林野庁が  
責任を持って管理しています

林野庁

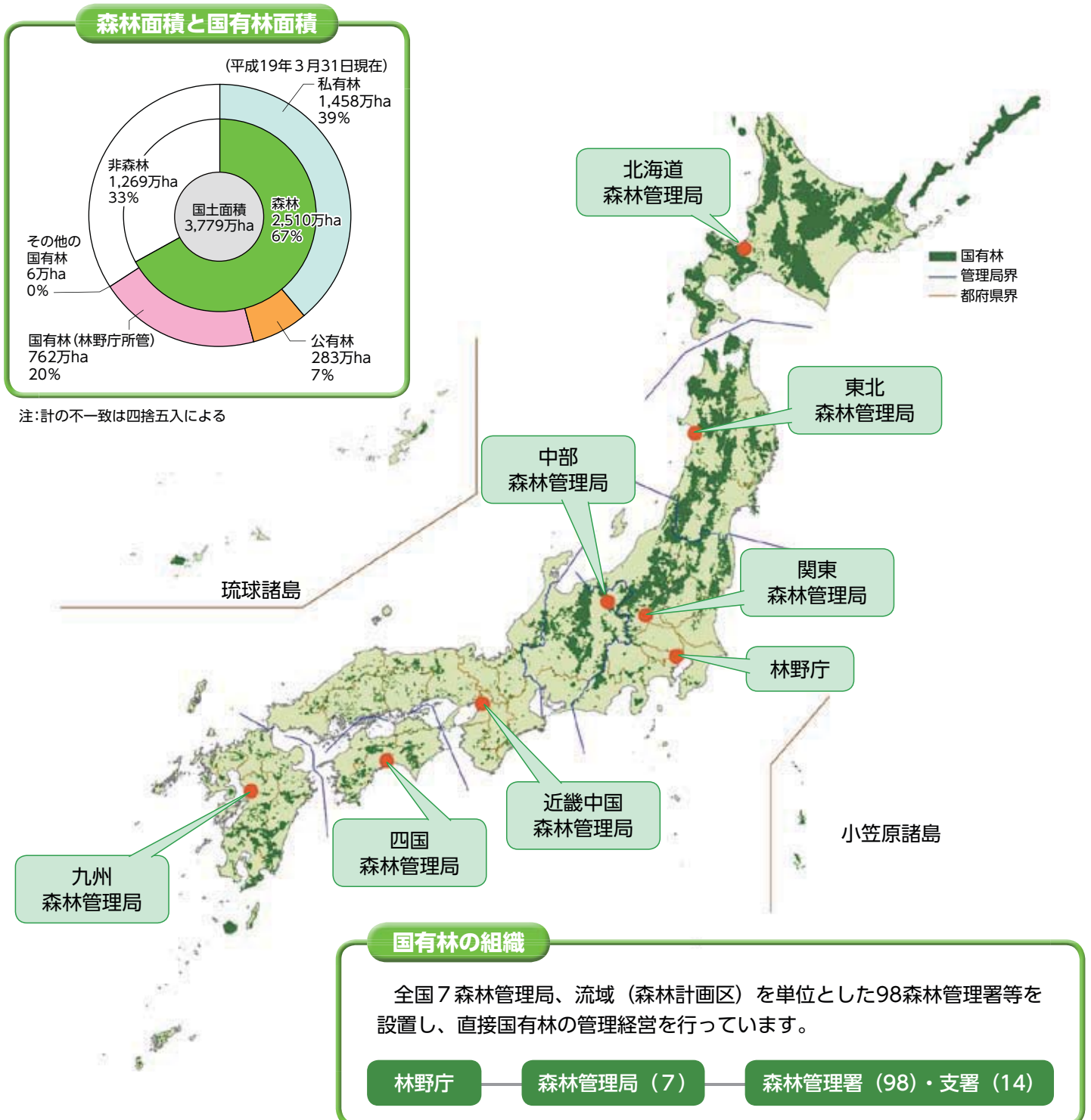


# 私たちみんなの森林「国有林」

世界有数の森林国といわれている日本。その国土面積の約7割は森林です。そして、この森林の約3割を占めているのが「国有林」です。「国有林」は全国各地に広がり、その多くは奥地の急峻な山地や水源地にあって、良質な水の供給、土砂災害の防止・軽減、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など私たちが生活していくうえで大変重要な働きをしています。

国有林の管理経営にあたっては、こうした森林の有する公益的機能を将来にわたって発揮していくことを目的に、計画的かつ効率的な事業の実施に努めています。

国有林は、国土の約2割、森林の約3割を占めています。



# 森林の機能を発揮させるために

森林には多様な機能がありますが、これらは重なり合って発揮されています。  
 国有林では、重視する機能に応じて、森林を5つのタイプに区分し、管理経営を行っています。

## 国有林の森林の区分

### 水源涵養タイプ

水資源を蓄え、良質な水を供給する機能を重視して森林を守り育てます。



白山（中部森林管理局）

### 山地災害防止タイプ

山崩れなどの災害を防止する機能を重視して森林を守り育てます。



高天良（中部森林管理局）

### 森林空間利用タイプ

森林レクリエーションなど森林とのふれあいの場としての機能を重視して森林を守り育てます。



西ノ浦森林スポーツ林（九州森林管理局）

国有林野面積  
758万ha

水源涵養タイプ  
393万ha  
52%

山地災害防止タイプ  
145万ha  
19%

自然維持タイプ  
166万ha  
22%

森林空間  
利用タイプ  
54万ha  
7%

快適環境形成タイプ  
(0.1万ha,0%)

空気をきれいにしたり、騒音をやわらげたりする機能を重視して森林を守り育てます。

### 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生生物の保護など自然環境を維持する機能を重視して森林を守り育てます。



知床（北海道森林管理局）

## 木材等生産機能の発揮

森林の重要な機能の1つに、木材などの生産があります。

国有林では、5つのタイプの区分に応じた適切な管理経営を行うため、間伐などの施業を実施しています。こうした施業を通じて、計画的に木材を生産し、国産材の需要拡大などのため、安定的な供給に取り組んでいます。



間伐後の林内



搬出した間伐材

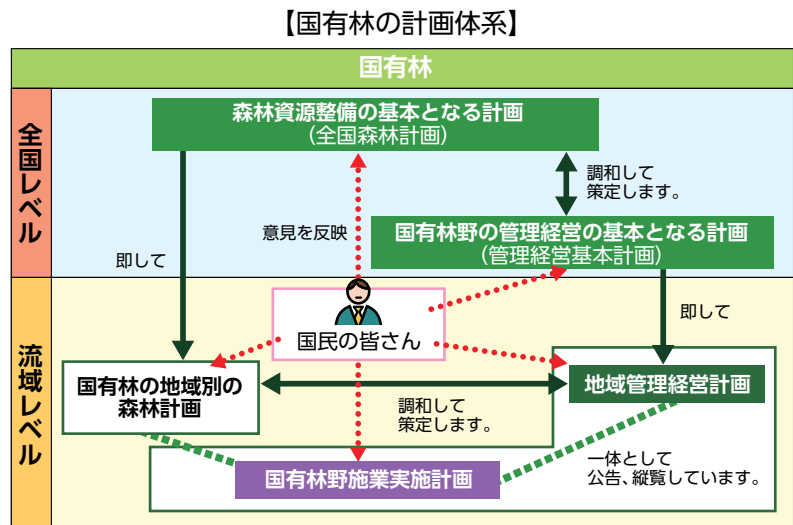


# 適切な管理経営を目指して

## 国有林の計画体系

国有林では、国民の大切な森林を管理するために、「管理経営計画」を立て、これに即した適切な管理経営に努めています。「管理経営計画」などを立てる際には、住民懇談会などを開催し、地域の皆様のご意見の反映にも努めています。

また、地方公共団体などの意見を聴き、民有林とも一体となって計画が立てられるよう協力し合い、森林づくりや木材の供給などの連携にも努めています。



### 【管理経営計画策定に向けた地域住民の皆様の意見把握】



住民懇談会



現地見学会

## 森林の調査

国有林では、日々、森林官などの技術者が現地の森林の調査や巡視を行っています。森林が健全な状態に保たれ期待される機能が十分に発揮されているかどうかを把握し、計画作成のための資料を収集したり、機能の促進や回復に向けて森林の整備や保全のための事業の発注を行います。



森林の調査



森林内の巡視

# 多様で健全な森林づくり

## 多様で健全な森林づくり

国有林では、林齢や樹種、高さの異なる複層状態の森林（複層林）や針葉樹と広葉樹が混交した森林（針広混交林）への誘導など多様な森林づくりを行っています。



単層林



複層林



針広混交林

## 地球温暖化防止への貢献

樹木は光合成により、大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出しながら炭素を貯え成長します。また、木材は、住宅などに利用することで二酸化炭素を長期間貯蔵することができます。

国有林では、吸収量の確保に向けて、適切な森林整備や木材利用等を推進しています。



適切な間伐の実施



復旧工事等への木材利用

## 森林づくりに必要な路網の整備

適切な森林づくりを行うためには、森林へのアプローチや効率的な作業のための道が必要です。

国有林では、地形に沿って道をつけるなど工夫で簡易な道づくりに取り組んでいます。



林内路網の整備



# 安全・安心な暮らしの実現

## 治山事業

国有林では、地震や豪雨などによる災害が発生した場所で治山事業を実施しています。森林の早期復元、適切な維持管理を行うことにより、地域の安全・安心の確保に努めています。

【岩手・宮城内陸地震（H20）災害の復旧状況】（東北森林管理局）



地震による大規模な地すべり発生直後の状況（H20.6）



復旧後の状況（H23.6）

## 災害への迅速な対応

国有林では、国民の皆様の安全・安心の確保に向け、山地災害に対する迅速な応急対策に努めています。また、大規模災害発生時には、民有林にも技術者を派遣するなどの支援にも取り組んでいます。

【災害により被災した箇所の応急対応】（近畿中国森林管理局）



被災箇所の調査（中国・九州北部豪雨（H21））



復旧計画の策定（台風第12号（H23））

# 優れた自然環境を有する森林の保全

## 保護林の設定

国有林では、大正4年から保護林<sup>(※)</sup>制度を設け、原生的な森林生態系からなる自然環境の保全、動植物の保護、遺伝資源の保存等を図る上で重要な役割を果たしている森林を保護林として設定し、厳格な保全管理に取り組んでいます。

また、我が国では、「屋久島」、「白神山地」、「知床」、「小笠原諸島」の4箇所が世界自然遺産として登録されています。

世界遺産登録地域の陸域部分のほぼ全域が国有林であり、これらを「森林生態系保護地域」として保護しています。



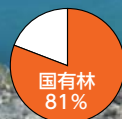
屋久島の縄文杉 (九州森林管理局)



白神山地 (東北森林管理局)



知床 (北海道森林管理局)



小笠原諸島 (関東森林管理局)

※保護林は、森林生態系保護地域、森林生物遺伝資源保存林、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林、特定動物生息地保護林、特定地理等保護林、郷土の森の7種類あり、平成24年4月1日現在、約91万5千haが設定されています。

※グラフは、世界遺産地域（陸域）に占める国有林の割合

## 希少な野生生物の保護と外来種の駆除

国有林では、保護林を中心とした野生生物の生育・生息地のネットワークを形成する「緑の回廊」を設け、希少種の保護や遺伝的な多様性の確保に取り組んでいます。

また、外来種の繁茂などが、森林の生物多様性の保全に悪影響を及ぼすおそれのある地域において外来種の駆除などにも取り組んでいます。



四国山地緑の回廊でのモニタリング調査で撮影されたツキノワグマ



小笠原諸島での外来種アカギの駆除



# 「国民の森林」としての管理経営

## 国民参加の森林づくり

国有林では、広く国民の皆様にご利用いただくため、景観の優れた森林やキャンプ・スキーなどの野外活動、自然観察などに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。

また、豊かな森林環境を子どもたちに学習の場などとして提供するための「遊々の森」や、国民の皆様が森林づくり活動のフィールドとしてご利用いただくための「ふれあいの森」の設定などに取り組んでいます。



レクリエーションの森

室堂自然観察教育林での散策（中部森林管理局）



遊々の森

職員による森林教室（北海道森林管理局）



ふれあいの森

ボランティア団体による森林づくり活動（関東森林管理局）

## 地域の「木の文化」継承への貢献

伝統的な木造建造物などの継承には、大径材や檜皮<sup>(※)</sup>などの特殊な資材が必要とされます。国有林では、こうした木材の計画的な供給を通じて、木の文化の継承に貢献しています。

また、こうした木の文化を次世代に引き継ぐため、国民の皆様参加による木の文化を支える森林づくりにも取り組んでいます。

※檜皮（ひわだ）とはヒノキから採取される樹皮で、伝統的な建造物の屋根に使われています。



檜皮の採取（中部森林管理局）



# 木材の供給による地域振興

## 木材の安定供給

国有林では、間伐などの森林整備によって得られる間伐材等の木材を計画的・安定的に供給することを通じて地域振興に貢献しています。

国有林材は国産材の2割を占め、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に直接供給することなどにより、国産材全体の需要拡大に貢献しています。



間伐による木材の生産（中部森林管理局）



大口の需要者への安定供給（佐賀県伊万里市）

## 低コストで効率的な作業システムによる木材生産

国有林では、路網の整備と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐材の生産等に取り組んでいます。



丈夫で簡易な路網の作設



効率的な木材の搬出

## 未利用間伐材等の需要開拓

これまで間伐材の端材等については、利用されず林内に放置されてきました。

国有林では、未利用間伐材等の木質バイオマスエネルギー源としての利用促進にも取り組んでいます。

【木質バイオマスエネルギー源としての利用（例）】



林内の端材



コンテナを用いた運搬



バイオマス発電所

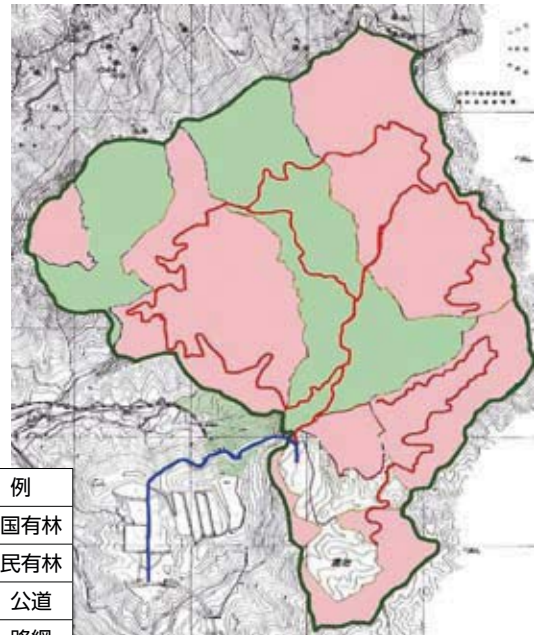
# 森林・林業再生への貢献

## 民有林と連携した森林づくり

国有林では、民有林と国有林が混在している地域などで「森林共同施業団地」を設定しています。民有林と連携し、効率的な森林づくりや地域によっては民有林材との協調出荷などに取り組んでいます。



民有林と連携した効率的な路網整備と間伐作業  
(島根県、近畿中国森林管理局)



凡	例
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightgreen;"></span>	国有林
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:pink;"></span>	民有林
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:1px solid blue;"></span>	公道
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:1px solid red;"></span>	路網

八川地域森林共同施業団地

## 技術の普及

国有林では、効率的な森林づくりなどのための技術の開発・民有林への普及に取り組んでいます。

コンテナ苗を活用した低コスト造林の普及や、研究機関と連携した成長のよい苗木の開発のための育成試験などに取り組んでいます。

### 【コンテナ苗を活用した低コスト造林の普及】



コンテナ苗



普及のための現地検討会

### 【次世代優良苗の技術開発】



次世代精英樹（スギ）選抜のための検定林



満5年で樹高8mのスギの優良個体

※写真提供：(独)森林総合研究所 林木育種センター



## 地域と連携した鳥獣被害対策

近年、シカによる森林植生への食害などが深刻化しています。

国有林では、国民の財産である国有林野をシカの食害などから保全するため、防護ネットの設置などの対策に取り組んでいます。

また、シカなどの野生鳥獣と共存できる地域づくりに向けて、地域や有識者、NPOなどと連携し、個体数管理や被害箇所の回復措置等の対策にも取り組んでいます。

### 【シカ害による被害箇所の回復措置】



防護ネット等の設置によるシカ害対策の推進（中部森林管理局）

### 【シカの個体数管理】



【シャープシューティングのイメージ図】

シカのシャープシューティング<sup>(※)</sup>（関東森林管理局）

※シャープシューティング（誘引狙撃法）とは、野生のシカを一時的に餌付けし、少人数が銃器によって餌付けされた全ての個体を捕獲する方法

## 人材の育成

森林を守り育てる人材の育成が課題となっています。

国有林では、森林・林業技術者として職員を育成し、市町村行政の支援などに取り組んでいます。

また、民有林の人材育成を支援するため、研修フィールドの提供などにも取り組んでいます。



森林・林業技術者育成のための研修（四国森林管理局）



路網づくりのための現地検討会（東北森林管理局）

## 地域振興に資する活用

国有林では、農林業をはじめとする地域産業の振興などに貢献するため、地方公共団体や地域住民の皆様に対し、国有林野の貸付けを行っています。

また、地域振興に資する再生可能エネルギー発電を促進するため、民間事業者が再生可能エネルギー発電のため国有林を使用する場合の規制緩和にも取り組んでいます。



放牧用地としての国有林野の貸付



風力発電施設用地としての国有林野の貸付

# 東日本大震災からの復旧・復興

## 海岸防災林の再生

東日本大震災では、大規模な津波の発生により、多くの海岸林が被災しました。

国有林では、国民の皆様にも参加いただきながら、潮害や飛砂を防ぐなど地域の生活環境の保全に重要な役割を果たす海岸防災林の再生に取り組んでいます。

【海岸防災林の再生事業】（東北森林管理局）



海岸防災林の生育基盤を整備するための盛土工事



国民参加による植栽

## 原子力災害への対応

東日本大震災では、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大量の放射性物質が森林内にも降下しました。

国有林では、関係機関と連携し、住居周辺の森林の除染や森林除染に関する実証事業に取り組んでおり、森林除染に関する知見の集積や技術開発に貢献しています。

また、除去土壌等の仮置場用地として国有林を提供しています。

【原子力災害への対応】（関東森林管理局）



森林内での除染作業



除去土壌等の仮置場としての国有林の提供

## 国有林に関するお問い合わせ先

庁・局	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
林野庁 広報室	100-8952	東京都千代田区霞が関1-2-1	03-3502-8111	03-3591-6505
林野庁 経営企画課	100-8952	東京都千代田区霞が関1-2-1	03-6744-2321	03-3592-6259
北海道森林管理局	064-8537	北海道札幌市中央区宮の森3条7-70	011-622-5228	011-622-5194
東北森林管理局	010-8550	秋田県秋田市中通5-9-16	018-836-2192	018-889-1356
関東森林管理局	371-8508	群馬県前橋市岩神町4-16-25	027-210-1158	027-230-1393
中部森林管理局	380-8575	長野県長野市大字栗田715-5	026-236-2516	026-236-2657
近畿中国森林管理局	530-0042	大阪府大阪市北区天満橋1-8-75	06-6881-3496	06-6881-3564
四国森林管理局	780-8528	高知県高知市丸ノ内1-3-30	088-821-2210	088-821-4834
九州森林管理局	860-0081	熊本県熊本市西区京町本丁2-7	096-328-3600	096-311-1284

林野庁ホームページアドレス：「[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/index.html)」

表紙写真（上：屋久島西部地域の植生の垂直分布（鹿児島県）、左下：天人峡（北海道）、中央左：森林内での体験学習（北海道）、中央下：災害復旧のための現地調査（奈良県）、右下：高性能林業機械を活用した森林整備（岐阜県）

